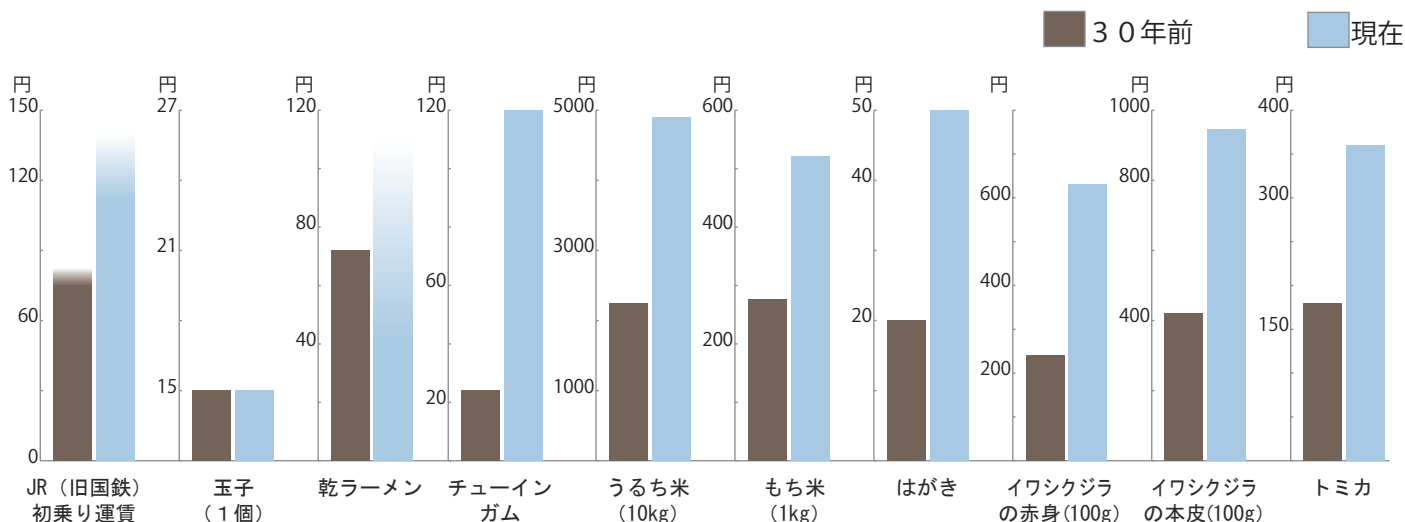


6. 物価の推移



品目	30年前	現在
JR(旧国鉄)初乗り運賃	70～80 円	120～140 円
玉子の価格(1個)	15 円	15 円
乾ラーメンの価格	72 円	40～110 円
チューインガム	24 円	120 円
うるち米(10kg)	2240 円	4900 円
もち米(1kg)	277 円	521 円
はがき	20 円	50 円
イワシクジラの赤身(100g)	240 円	630 円
イワシクジラの本皮(100g)	420 円	945 円
トミカ	180 円	360 円

物価の優等生といわれる玉子を除き、賃金に対するこれら物価の変動は…

30年前の物価について

はじめに、時代とともに物価が上昇してきた理由はいくつかあるが、一番の理由は人口の増加であると考える。

人口が増加すれば当然国全体の経済活動の量も増加し、衣・食・住に対する需要が増大する。

需要が増大すれば当然インフレになり、また道路や河川、橋梁や鉄道といったインフラ整備のための財政出動もインフレを誘発した。

現在の価値換算を考える時に重要なのが『何を基準にするか』だと言える。

日経平均株価などを目安にしてみると、概ね2倍といったところではないだろうか。

1975年の頃には、オイルショックや第二次ベビーブームも去り、ここから30年、バブルはあれど極端なインフレはほとんど無かったように思える。

実際、30年前と比べて10倍にもなった物などほとんど見受けられない。

ただ、個別には上下格差が結構あったのも事実である。